

234人目



岩村町飯羽間
高橋 寿成さん (45歳)

□プロフィール
愛知県豊田市出身。営業職や商業施設などでの勤務を経て、平成23年に岩村町に移住。現在は林業や木育などに携わり、令和5年からは市森林環境教育推進協議会の会長を務める。



▲ネイチャーゲームリーダー養成講座で、参加者に説明する高橋さん

令和5年から市森林環境教育推進協議会（えーな木育クラブ）の会長を務める高橋寿成さん。高橋さんは愛知県豊田市出身で、平成23年に家族と共に岩村町に移住。現在は林業や木育などに関わりながらさまざまな活動を行っている。高橋さんはこれまで、公務員や営業職、就労支援施設、東京デイズニderlandでも勤務。幼児教育や農業も学び、多種多様な業界に関わってきた。そんな高橋さんが木育に力を入れていくようになったのは、林業に携わる中で森や木に興味を持ち、これまでの経験を生かすことができるのではないかと考えたからだった。

えーな木育クラブは、木育を行うことにより自然を理解し愛着を持つってもらうことを目的に、令和3年に設立され今年で4年目。市内こども園での木育教室や市民対象の木育教室、ネイチャーゲームリーダー養成講座、ファーストマイスプーン事業など、さまざまな事業に取り組んでいる。

えーな木育クラブが企画するイベントでは、木の枝葉を使った秘密基地作りや、ネイチャーゲームの他、自然の中に作られた大きなブランコで遊んだり、ホオノキの枝でシャボン玉を吹いたりするなど、自然の楽しさを感じられる遊びを多く取り入れている。

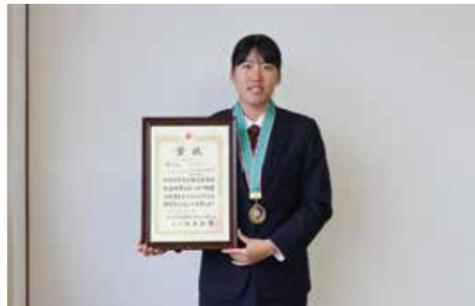
「恵那には自然がたくさんあるのに、その楽しさや魅力がまだまだ知られていない。イベントに参加すれば大人も子どもも今まで知らなかった自然の魅力に気づき、遊びを楽しむことができる。自然の中で遊ぶことの魅力をもっと多くの人に広め、楽しさを実感してほしい。参加者のキラキラした笑顔を見られることが一番のやりがい」と高橋さんは優しく微笑んだ。

7月28日(日)には、えーな木育クラブ主催のシャワークライミングが予定されている。本紙12頁で参加者を募集しているので要チェック。

森と人の架け橋に 木育の良さを広めていきたい



その他の話題もウェブサイトに満載



5/7

全国高校スピードスケート
選手権の優勝報告

1月に恵那スケート場で行われたインターハイの女子チームパシュートで優勝した大窪奈緒さん（大井町出身）が優勝を報告しました。大窪さんは「優勝できたのは私だけの力ではなく、一緒に出場した選手や監督、コーチ、皆さんの応援のおかげ」と話しました。



5/3-4

光秀の武者行列が大正村を
練り歩く

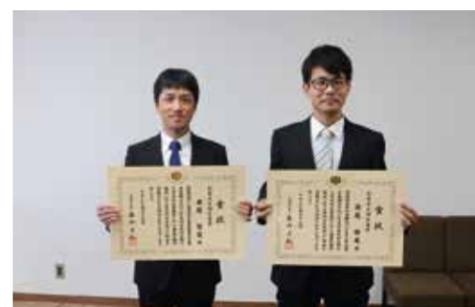
明智町で「光秀まつり」と「ちょっとおんさい祭り」が開催され、2日間で約1万7千人が来場しました。恒例の明光秀武将行列には総勢100人が参加。迫力満点の火縄銃演武やステージイベント、屋台の出店などもあり、来場者は思い思いに祭りを楽しんでいました。



5/18

豊作を願って
恵那の里次米お田植え祭

長島町で「恵那の里次米お田植え祭」が行われました。祭りでは神事などを行った後、早乙女姿の女性がお田植え踊りを披露し、水田では手植えで苗を植えました。会場には約300人の来場者があり、カメラで撮影するなどして華やかな祭りを楽しみました。



5/10

創意工夫を凝らし
職場の業務改善に貢献

文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞を受賞した、明光化成工業㈱の西尾哲宏さんと西尾郁哉さんが受賞報告を行いました。この賞は優れた創意工夫で技術の改善向上に貢献した方を対象に表彰しています。今年度は県下11人のうち2人が恵那市民の受賞となりました。



5/24

寒天の出来栄を評価する
品評会

山岡農村環境改善センターで、第69回岐阜県寒天展示品評会が行われ、優秀賞の農林水産大臣賞に山一寒天産業㈱の西尾有揮さんが選ばれました。西尾さんは「自分の名前を知ってもらいやりがいを感じている。今後も良い寒天を作りたい」と話しました。



5/19

未来の防災リーダーに
市少年消防隊入隊式

令和6年度市少年消防隊入隊式が恵那文化センターで行われました。今年度は26人が入隊し、総隊員数は70人となりました。新隊長の木全心君（中野方小学校6年生）は「火災予防を心がけ、明朗活活な模範となる隊員になる」と決意を表明しました。